

都市景観資源の紹介



都市景観資源

大阪市では、市民のみなさんが日頃から親しみを感じている建造物や橋梁、樹木などの魅力的な景観を募集し、寄せられたご意見をもとに、大阪市都市景観委員会で審議していただき、22件の都市景観資源を登録しました。（平成15年度、平成16年度）

これら22件の都市景観資源は、「大阪城天守閣」や「通天閣」をはじめとする、市民のみなさんにとって身近で、来訪者にとってもよく知られている景観です。

今後は、区ごとに新たな都市景観資源を発掘し、登録・活用していきます。

1. 一心寺



◆所在地 天王寺区逢坂2丁目8番69号

◆登録年月日 平成15年4月11日

◆概要 約800年前に法然上人が、四天王寺の西、海に沈む夕陽が望めるあたりに造った草庵が一心寺のはじまりで、骨仏の寺として全国的に有名。昭和20年(1945年)、戦災によりほとんど焼失したが、その後、昭和41年(1966年)には本堂が再建され、その後も、念仏堂・山門など伽藍の再興が進められている。

3. 大阪城天守閣



◆所在地 中央区大阪城1丁目1番

◆登録年月日 平成15年4月11日

◆概要 大阪城は、天正11年(1583年)豊臣秀吉により築かれたが、大坂夏の陣で焼失、堀も石垣も全て徳川幕府の手で作り直された。天守閣は、その後落雷により焼失したままであったが、昭和6年(1931年)、市民の寄付により豊臣秀吉創建時の姿に再建されたもので、鉄筋コンクリート造、外部5層、内部8層で、館内は秀吉と大阪城を中心とした歴史博物館として活用されている。平成9年(1997年)の大改修により美しい姿がよみがえっている。

2. 大阪市中央公会堂



◆所在地 北区中之島1丁目1番27号

◆登録年月日 平成15年4月11日

◆概要 北浜の株式仲買人・岩本栄之助が私財100万円(現代で約50億円)を大阪市に寄贈し、辰野金吾らの設計により、大正7年(1918年)に建設された(地上3階、地下1階)。ヘレン・ケラーやガガーリンなどの著名人の講演やコンサートなどに活用され、大阪の近代文化の形成に大きく貢献してきた。平成14年(2002年)保存・再生工事が完了し、市民に広く活用されている。

4. お初天神(露天神社)



◆所在地 北区曽根崎2丁目5番4号

◆登録年月日 平成15年4月11日

◆概要 露天神社は、創建以来1300年ともいわれ、菅原道真の詠んだ歌から露天神社とも称する。一般には、近松門左衛門の名作「曾根崎心中」の遊女お初にちなんでお初天神と呼ばれている。昭和20年(1945年)、戦災により焼失したため、昭和32年(1957年)に社殿が再建され、平成5年(1993年)の改修により境内は一新されている。